

知事： 高知県の観光の課題について少しだけお話をさせていただきたいと思います。一番大きい課題は、観光地に行ってもお金を使うところがないことです。もしくは、観光客が地元にお金を落としてくれない。高知県に観光に来られる方は日帰りの方がものすごく多いです。せいぜい1泊で、2泊以上する人は全体の4分の1もいません。泊まる宿泊数が少ないです。泊まると夜ご飯も食べてくれたりするので、お金が落ちるのが一番大きいはずですが、それがありません。だから、できるだけ地元に戻してもらい、泊まってもらうことが大切です。

それと、高知県の場合はお金を使うところのない観光地が多いです。これは今、どんどん改善しようとしています。例えば来年の「龍馬伝」は岩崎弥太郎から見た坂本龍馬を描きますので、岩崎弥太郎邸、岩崎弥太郎が生まれた生家、こちらは日本でも有名な観光地になる可能性があります。しかし、岩崎家が管理しており、無料で入れます。周りにはおみやげ物屋さんもないです。すごくもったいないと思います。そこで500円、1,000円使ってもらおうと大きな経済効果になります。だから、実は今地元の方々がお饅頭などいろいろなものを売ろうという取り組みを始めています。

統計を見ますと、一人当たりの観光客が高知県で使うお金が23,800円です。これはホテル代も入れてなので、ものすごく少ないです。しかもこの金額は4年連続でずっと落ちています。ところが去年は1,700円上がり25,500円になりました。去年は「花・人・土佐であい博」で、例えばコスモス祭りもすごく盛んにやられて、花を見ていただくだけではなく出店もして、お酒も出て、腕相撲大会までやっていました。花を見ると同時に、花より団子の団子の部分も徹底してやられた。このような成果が各地で現れたと思います。高知県には観光客の皆さんが300万人来ますから、一人当たり1,700円増えると効果は絶大です。観光部分の経済効果は前年に比べてプラス7%でした。だから、やはりやれば効果が出ると思いました。

横畠の皆様は既に分かっていると思いますが、地域に観光に来られる人いろいろな体験をしてもらうと当然お金が落ちると思います。さらに小学校で泊まるという要素も加わってくると、本当に大きな力になるという感じがします。小学校についての取り組みもぜひ頑張っていたいただきたいと思います。我々に何かできることがあれば、ぜひさせていただかなければいけないと思います。